

令和2年2月7日

## 文化庁主催シンポジウム 企業の文化投資は経済界・文化界に何をもたらすのか

文化庁は、平成29年12月に「文化経済戦略」をまとめ、国・自治体・企業等による文化芸術への投資により新たな価値を創出し、それらが文化芸術に再投資される「文化と経済の好循環」の実現を目指しております。

文化経済・国際課では、企業の文化芸術領域への投資活動の促進や企業・組織の保有する美術品の活用等を通じた、文化界・経済界双方の発展のため、文化経済戦略推進事業を実施しており、今回はその一環としてシンポジウムを開催いたします。

文化庁が牽引する「文化経済戦略推進事業」の位置づけや戦略をご説明するとともに、様々な関係者（文化芸術界関係者・企業経営者・アーティスト）が集い、世界の潮流や国内の事例を共有しながら、課題や今後の展望について議論します。

### <シンポジウム概要>

- 日時： 2020年2月20日（木） 14:30~17:30（受付開始13:30）
- 会場： 国立新美術館 3階 講堂（東京都港区六本木7-22-2）
- プログラム内容（敬称略）：
  - 14:30 - 14:45  
文化庁が推進する“文化と経済の好循環”  
今里讓 文化庁次長
  - 14:50 - 15:10  
基調講演：文化と経済の好循環を生むためには  
青柳正規 多摩美術大学理事長，山梨県立美術館館長，東京大学名誉教授，  
前文化庁長官
  - 15:15 - 15:35  
イノベーションのドライバーとしてのアート  
長谷川一英 株式会社E&K Associates 代表
  - 15:40 - 15:55  
アーティスト思考について  
AKI INOMATA 美術家

➤ 16:10 - 17:10

**パネルディスカッション**

青柳正規 多摩美術大学理事長, 山梨県立美術館館長, 東京大学名誉教授,  
前文化庁長官

AKI INOMATA 美術家

長谷川一英 株式会社 E&K Associates 代表

前田育男 マツダ株式会社常務執行役員

➤ 17:10 - 17:30

**参加者交流会**

〈参加申し込み〉

御参加を御希望の方は、下記サイトから御登録ください。

<https://tohmatu.smartseminar.jp/public/seminar/view/6749>

〈担当〉 文化庁 文化経済・国際課

課長補佐 林 保太 (内線 4847)

三浦 幹生 (内線 4849)

専門官 堀 達也 (内線 3044)

連携推進係 藤井 亮介 (内線 4844)

電話 : 03-5253-4111 (代表)

03-6734-4844 (直通)